

シートは、乗艇前後で常に丁寧に点検とクリーニングが必要な部分です。特に、シートの外し方をよく知っておきましょう。

1 シートの構造

Structure

スライディング・シートは、4つのホイールを持ち、前後に移動する座席です。ホイールには、ダブルアクション(ガイドの中を軸が転がるタイプ)と、シングルアクション(ベアリングが組み込まれ軸が固定されたもの)があります。ダブルアクションの前後の軸をつなぐパネルは、脱線防止に重要です。



ダブルアクションタイプのシート。キャリッジが、4つのホイールをつなぐ。転がりをうまく利用して滑りやすくスライド長も稼ぐ。



シングルアクションタイプのシート。ホイールにはベアリングがある。

2 取扱と日常整備

Maintenance

シートは、ホイール、軸および軸受け部の摩耗、シャフト端のエリングの状態などをよく点検しましょう。



エリング。軸端などに用いられ、小さいが重要な部品。

また艇を裏返したときのシートの脱落防止のために、紐やゴム紐(ひも)などでシートを固定しましょう。ただし、紐がレールに巻き込まないように注意しなければなりません。外れやすいシートは、艇を裏返して運ぶときは外しておきましょう。

3 シートの取り付け・取り外し

Put On/ Off

3.1 ダブルアクションタイプの場合

4つのホイール(とユニット=キャリッジ)を艇尾側に寄せて持ち、その状態のままフロントストップ側から「静かに」引き抜けば、簡単に外れます。シートを無理にたたいて外す、取り付けるのは厳禁です。シートやフロントストップを変形・損傷させ、脱線しやすくなります。取り付けは、取り外しの逆の手順です。



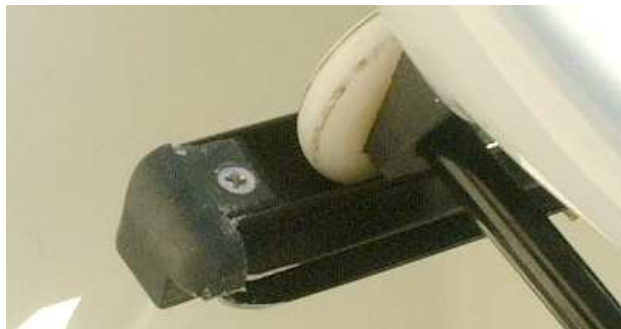
間違った外し方。また無理やり外すと、フロントストップを傷める。



正しいはずし方。キャリッジを前に引っ張れば容易に外れる。

3.2 シングルアクションベアリングタイプの場合

シングルアクションのベアリングタイプは、それぞれの構造にもよりますが、シート側ではなく、レールのフロントストップを外してシートをはずすことが多いです。構造上、バックストップから外せる場合は、できるだけバックストップから着脱しましょう。



シングルアクションタイプでは、バックストップのネジを外す。